

令和4年度 第1回福井市空き家等対策協議会の議事要旨等

1. 開催日時

令和4年4月27日(水) 13時30分 ~ 15時00分

2. 出席者

野嶋委員(会長)、吉田委員(副会長)、野尻委員、小野委員、田中委員、勝二委員、峯金委員、辰野委員、本岡委員、姉崎委員、長谷川委員、増永委員

3. 報告事項

- 令和3年度空き家等対策協議会での主な意見とその対応(資料1)

4. 議事

(1) 現計画の進捗状況

- 空き家等対策計画の進行状況の報告(資料2)

(2) 福井市空き家対策計画の改訂

- 福井市空き家等対策計画の改訂(骨子)(資料3-1)
- 福井市空き家等対策計画の改訂スケジュール(資料3-2)
- 福井市空き家等対策計画の素案(資料3-3)
- 福井市空き家等実態調査の実施(資料3-4)

(3) 特定空き家等の対応状況

- 特定空き家の認定状況、改善状況の説明、指導状況説明(資料4)

(4) 福井市空き家対策総合実施計画について

- 国庫補助申請に伴う福井市空き家対策総合実施計画の作成(資料5)

(5) その他

- 第2回空き家等対策協議会の開催日程について

<主な意見(順不同)>

- ア 所有者意識の低下の要因として、相続が難しいとか、県外在住でなかなか福井まで空き家の管理のために帰れないなど、物理的に空き家の管理が難しいというケースや、それ以外に、収入がなくて手が付けられないとか、対応ができないということがあるのではないか
- イ 所有者意識の低下は、空き家対策において非常に大事なことではないか

- ウ 調査に協力する各団体の方が、円滑に空き家実態調査ができるよう、市民への周知など、事前準備をしっかりと行ってほしい

- エ 空き家等実態調査の調査は、団体でするのではなく、個人個人が現地に赴いて進めるものであるため、調査員によって判定に個人差がでることが考えられるのではないかと

- オ 空き家等実態調査における老朽度判定がBの「一部破損」とCの「破損しているが倒壊等の危険はない」の空き家について、利活用の可能性があるかどうか、不動産業的な商品価値の評価・判断をこの項目に入れてみてはどうか

- カ 所有者に対して、行政側から、調査した空き家の利活用の可能性などへの意見を調査結果に記載できれば、所有者の方から相談があった際に、「利活用が難しいですよ」、「早く手を打ったほうがいいですよ」などと助言するときの判断の参考になるのではないかと

- キ 不動産団体なり建築関係の皆さんのご意見を入れて調査シートが現地で実際に使えるよう検討し直す必要があるのではないかと

- ク 空き家実態調査において、外観での目視では、老朽化の判断がしづらい部分なので、C以降の危険度の判定は少し慎重に判断を要するのではないかと

- ケ 空き家が万が一、倒壊したとしても、周りに空地があるかどうかとか、緊急車両が通る道に面しているかどうかなどをチェックしたうえで、対応の優先順位を考えていく必要があるのではないかと

- コ 今回変更する空き家等対策計画の基本方針は、居住中の空き家化、管理不全化、除却化という流れに沿って、対応を考えていただくと非常に所有者にも市民にもわかりやすい